

表1 発酵粗飼料用イネ専用品種

品 種 名	特 徴	栽培のポイント	キャッチフレーズ	主な栽培適地
べこごのみ	子実収量とTDN収量が多収	多肥栽培に適する	東北地方向け早生品種	東北中北部以南向き
べこあおば	耐倒伏性に優れ多肥栽培向き	苗箱の播種量は多めに	耐倒伏性に優れた早生	東北中南部・北陸・中部向き
クサホナミ	茎葉と子実収量の両方が高い、脱粒性難	多肥栽培に適する	晩生の無毛品種	関東～中国・四国向き
モミロマン	粗玄米収量が高く、飼料用米にも利用可	白葉枯病と縞葉枯病常発地帯では避ける	耐倒伏性に優れた中晩生品種	関東～中国・四国向き
夢あおば	茎葉収量高く、穂重型、湛水直播に適する	多肥栽培向き、耐冷性弱い、苗箱の播種量多めに	耐倒伏性極強の早生品種	東北中南部・北陸・中部向き
ホシアオバ	茎葉と子実収量の両方が高い、草型は極穂重型	多肥栽培向き、播種量は慣行の30%増量	中生の大粒品種	東北中南部・北陸・関東～九州向き
クサノホシ	茎葉と子実収量の両方が高い、茎葉が繁茂	多肥栽培向き、苗箱の播種量多めに	極晩生の多収品種	関東～中国・四国向き
ニシアオバ	長稈穂重型、「モーれっ」並に多収	多肥栽培は避ける、苗箱の播種量多めに	晩生の穂重型品種	九州地域等暖地向き
はまさり	茎葉収量が特に高い、草型は極穂数型	晩植えでは収量下がる	極晩生の多収品種	関東～中国・四国向き
リーフスター	極長稈で地上部のTDN収量が高い	移植栽培で多収、縞葉枯病の常発地帯では避ける	茎葉繁茂性の極晩生品種	関東～中国・四国向き
タチアオバ	極長稈だが倒伏に強い、早植えで多収	多肥栽培向き、白葉枯病常発地帯では避ける	極多収・極強稈の極晩生品種	九州向き
モミロマン	粗玄米収量高い耐倒伏性強く、直播栽培でも多収	白葉枯病と縞葉枯病常発地帯では作付けない	中晩生品種 飼料米・稲発酵粗飼料向け	関東～中国・四国向き

(社)日本草地畜産種子協会作成の平成21年播種用「飼料用イネ種子のご案内」より抜粋。
詳しくは本パンフレットや(社)日本草地畜産種子協会ホームページを確認して下さい。